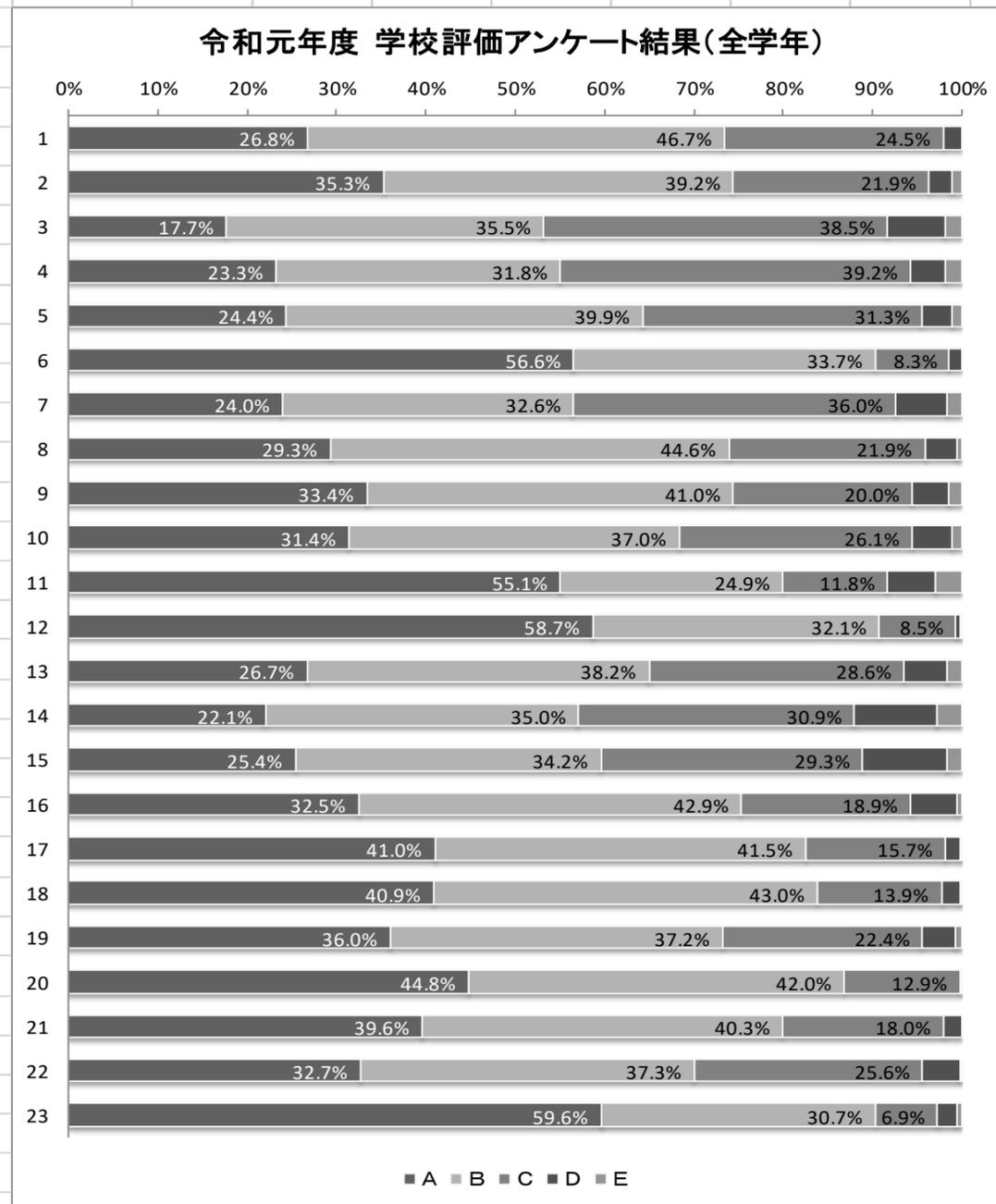


令和元年度 学校評価アンケート集計結果(保護者:全学年) 在籍人数 473名 回答 434名 回収率 91.8%

番号	評価項目
1	学校の授業や実習は分かりやすく、充実している。
2	学校は検定や資格(英検・漢検・数検等)に積極的に取り組んでいる。
3	学校は家庭学習を習慣化させる指導を積極的に行なっている。
4	学校は生徒の悩み等の相談にのってくれる。
5	学校は交通安全指導に力を入れている。
6	学校は服装・頭髪・遅刻など校則について厳しく指導している。
7	学校は生活指導面で家庭との連絡を十分取っている。
8	インターンシップや進路講演会等が充実され、役に立っている。
9	オープンキャンパスや進路相談会等の機会が十分提供されている。
10	進路の実現に向けて進路相談、面接・小論文指導等を十分行っている。
11	子供は積極的にクラブ活動へ参加している。
12	学校行事(体育祭・稲穂祭)は充実している。
13	学校と家庭との信頼関係が確立されている。
14	保護者は学校行事へ積極的に参加している。
15	家庭には学校の様子がよく伝わっている。
16	子供が学んでいる学科・コースの内容を理解している。
17	子供は農業学習を通して知識や技術を修得している。
18	子供が受けている農業教育は将来、役に立つと思う。
19	学校は農業関連の資格(危険物・毒劇物等)に積極的に取り組んでいる。
20	学校には農業科目を深めるための施設・設備が整っている。
21	子供は農業高校で学んでいる食料や環境についての関心が強くなった。
22	子供は農業学習を通して、地域農業の現状や課題について関心が強くなった。
23	子供を本校に入学させてよかった。
A	よくあてはまる
B	ややあてはまる
C	どちらともいえない
D	あまりあてはまらない
E	まったくあてはまらない



- A(よくあてはまる)で50%以上の項目は「校則の指導」「部活動の参加状況」「学校行事の充実」とNo.23の「新発田農業高校在学への安心感」。
- 一方で、No.7の「生活指導面での連携」でAが24%、No.13の「家庭との信頼関係」でAが26.7%であり、保護者と学校側の共通理解に課題が見られる。
- 農業教育に関する項目について、保護者からの評価は高い数値である。(No.17・18・20がAとBの評価合計で80%を越えている。)
- AとBの評価を合計して50%前後の項目はNo.3・4・7・13・14で、学校から保護者への情報発信や保護者の学校への関心がやや少ないように思われる。